

AWS Elemental link クイックスタートガイド

STEP1 : ネットワーク設定

<DHCP の場合>

1. 電源を接続し、イーサネットケーブルをインターネット接続環境に接続し、アクティブな SDI または HDMI ケーブルを接続します。

電源コネクタは時計回りに四分の一ほど回転させることで所定の位置にロックされます。

2. デバイスの電源が入り、AWS に接続できるようになるまで、約 1 分待ちます。
接続されると LED は次のような表示になります。
 - 【ONLINE】 LED と【AWS LINK】 LED が青色に点灯
デバイスが AWS Elemental MediaLive に正常に接続されたことを示します。
 - 【STREAMING】 LED が紫色に点灯 : 正常にストリーミング出力されていることを示します。

<静的 IP アドレスの場合>

1. 電源を接続し、イーサネットケーブルをインターネット接続環境に接続し、アクティブな SDI または HDMI ケーブルを接続します。

電源コネクタは時計回りの四分の一ほど回転させることで所定の位置にロックされます。

2. デバイスの電源が入るのに約 1 分待ちます。
3. 起動したらデバイス前面の黒いボタンを 10 秒間押し続けます。
4. LED が 2 回点滅したらボタンを離します。これでデフォルトの静的 IP アドレスに設定されました。
5. デバイスの下部にあるステッカーに記載されている IP アドレス、および管理者ユーザー名と管理者パスワードをメモします。
6. ローカル ネットワーク経由でコンピュータからデバイスに接続します。
(コンピュータを同じセグメントの IP アドレスに設定する必要があります。)
7. Web ブラウザでデバイスのデフォルトの静的 IP アドレスにアクセスします。プロンプトにログインする管理者の資格情報を入力します。
8. ネットワーク設定ページが表示されたら、IP アドレスを変更できます。また管理者のユーザー名とパスワードを変更します。
9. デバイスの LED が次のような表示になれば正常です。
 - 【ONLINE】、【AWS LINK】 LED が青色になれば正常に AWS Elemental MediaLive に接続されたことを示します。

- 【STREAMING】LED が紫色になれば正常に入力信号を認識していることを示します。

注) 静的 IP アドレスから DHCP に戻す場合は、デバイス前面の黒いボタンを 5 秒間押し続けます。

LED が一度点滅したら、ボタンを放します。これでデバイスは DHCP に設定されます。

STEP2 : AWS Elemental Media Live 上の設定

注) ルーターの送信接続用ポートに 443 および 2088 が設定されていることを確認してください

1. STEP1 の手順完了後、<https://console.aws.amazon.com/medialive/>で AWS Elemental MediaLive コンソールを開きます。MediaLive navigation で、[Devices] を選択します。
2. 設定したすべての AWS Elemental link、[Devices]ページに表示されます。コンソールの各デバイス ID は、物理デバイスの下部に印刷された ID と一致します。
3. MediaLive でデバイスを使用するには、このデバイスをソースとして使用する設定を行います。次の手順に従います。
 - ナビゲーションで、[Inputs] を選択します。そのページで[Create input] を選択します。
 - [Input type] で、[Elemental link] を選択し、[Input devices] フィールドで、使用するデバイスを選択します。
4. このデバイスをチャンネルで使用する準備ができました。デバイス入力を含むチャンネルを開始または停止すると、チャンネルが自動的にデバイスを起動および停止します。物理デバイスを直接操作する必要はありません。

以上で設定は完了です。

お問い合わせ： link@totsu.co.jp
